

整理番号	37	作成日	平成 18 年 6 月 20 日
事業名	サタデイ・プロジェクト(土曜補習授業)		
所属名	教育委員会 指導室 指導主事・事務係	電話番号	(03) 5662-1635 (直通)

事業の目的・概要・対象者等	《事業の目的及び概要》	《事業の開始年度》	平成16年度
	<p>児童・生徒の確かな学力を定着させ、健全育成の一層の推進を図ります。 児童・生徒の希望者を対象に、一人ひとりの実態に応じて、学校や児童・生徒本人が教材を用意し、補充的・発展的な学習を行ないます。 月2回を基本とし、学校長が指定する土曜日に実施します。 従事者は学校長が指定する教育職員が中心となりますが、保護者や地域の方々の協力や、共育パートナーを活用します。</p>		
	【児童生徒数・18年5月現在】	区立小中学校児童・生徒数(H18.5.1現在)	
	対象者	53,219人	小学校 73校 児童数：37,864人 中学校 33校 生徒数：14,455人

活動指標	活動指標	実施校数	活動指標	延べ参加者数
	17年度	48校 (16年度) 27校 *17年度 小学校 29校・中学校 19校	17年度	40,762人 (16年度) 11,488人 *17年度 小学校 31,899人・中学校 8,863人

成果・目標指標	成果・目標指標	実施率	成果・目標指標	
	17年	45.3%	20年度目標	100%
	各学校で作成する「確かな学力向上推進プラン」に基づき、全ての学校での実施、より多くの児童・生徒が参加できるよう働きかけます。			

経費の概要	17年度事業実施経費	8,391千円	経費の説明						
	内訳	参加児童・生徒一人1回分の経費は、205.8円です。							
	【人件費と担当職員数】	<table border="1"> <tr> <td>ア 常勤職員</td> <td>2,492時間</td> </tr> <tr> <td>イ 非常勤職員</td> <td>0.0人</td> </tr> <tr> <td>ウ 臨時職員</td> <td>0.0人</td> </tr> </table>	ア 常勤職員	2,492時間	イ 非常勤職員	0.0人	ウ 臨時職員	0.0人	教職員の平均時間単価3,054円×総実施時間数2,492時間=7,610,568円が職員人件費です。 さらに共育パートナー謝礼780,000円(@2,000/1回・1人あたり、延べ390人)を加算した金額が事業経費です。 【年間実施回数】 ・小学校332回(平均11.4回/校) ・中学校197回(平均10.3回/校) *1回あたり平均7名の教職員が従事しています。
ア 常勤職員	2,492時間								
イ 非常勤職員	0.0人								
ウ 臨時職員	0.0人								
	7,610,568円								

その他	《実施の根拠となる法令等》	・サタデイ・プロジェクト事業実施要領 学校職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例
	《民間委託やボランティアなどとの協働の状況》	・保護者や地域の方の協力 ・共育パートナーの活用
	《その他》	

平成18年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	37	事業名	サタデイ・プロジェクト(土曜補習授業)
			所属名
			教育委員会 指導室 指導主事・事務係

所管課長評価

そう思う ↔ そう思わない

	評価項目	5	4	3	2	1	備考
【必要性】							
1	公費を投じて実施するべき事業である。		4				
2	他の事業と整理、統合する可能性がある。		4				
【有効性】							
3	目的を果たすために有効な事業である。		4				
4	成果が上がっている。		4				
【公平性】							
5	対象者や実施回数等は適切である。			3			
6	受益者負担の額は適切である。						*非該当
【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。							
7	ボランティアやNPOの活用可能性がある。					1	
8	民間事業者への委託等の可能性がある。				2		
【効率性】							
9	効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。		4				
10	経費を削減できる可能性がある。				2		

所管部長の意見等

本事業の実施に際し、都教育庁との協議により、平成17年度から補習授業に限り、4時間ごとの週休日の変更が、本区を含む都内4区で試行的に実施された。また、18年度からは、補習授業に限らず、全都において4時間ごとの変更と、変更期間の改正(これまでの前後2月から、前2月、後4月となった)がなされ、本事業実施の条件整備が整った。

今後は、本事業の狙いである児童・生徒一人ひとりの実態に応じたきめ細かい指導ができるよう、各学校により一層の工夫を求めていくとともに、共育・協働の理念のもと地域力を活用し、地域で子どもを守り育てる取り組みを行なっていきたい。

平成18年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	37	事業名	サタデイ・プロジェクト(土曜補習授業)
------	----	-----	---------------------

所属名	教育委員会 指導室 指導主事・事務係
-----	--------------------

外部評価委員評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性】							
1	公費を投じて実施すべき事業である。		4				
2	他の事業と整理、統合する可能性がある。			3			
【有効性】							
3	目的を果たすために有効な事業である。		4				
4	成果が上がっている。		4				
【公平性】							
5	対象者や実施回数等は適切である。			3			
6	受益者負担の額は適切である。						*非該当
【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。							
7	ボランティアやNPOの活用の可能性がある。		4				
8	民間事業者への委託等の可能性がある。			3			
【効率性】							
9	効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。		4				
10	経費を削減できる可能性がある。		4				

外部評価委員の意見

学力向上を目的とするならば、土曜日以外の実施や、他の方法もあるのではないが。
 土曜日に、家庭で何もしないで過ごすのであれば、学校に行って勉強する環境があったほうがよい。
 日常関わっている先生以外とコミュニケーションが図れたり、授業に比べて、気軽に接することができることは良いことだと思う。
 目標に掲げるまでもなく、全ての学校で実施するよう頑張ってほしい。
 実施している学校、実施していない学校で差が出てしまうのではないか。
 アンケートなどを実施しながら、効果があがるよう、着実に実施してほしい。

評価欄の数字は、各項目の評価点です。